



広報 こそがわ

発行/編集 古座川町役場総務課/広報編集委員会 電話(代) 0735-72-0180

2010
No.111 **4**



三尾川へき地保育所入園式

黄組

奥村 悠陽 (4)

桃組

久保 陽都 (3)
巽 一葉 (3)
洞 杏実 (3)
見瀬 愛弓 (3)

緑組

池田 碧羽 (2)
若林 陽介 (2)

赤組

明利 勇輝 (1)
大屋 咲愛 (1)
尾崎 蓮音 (0)
栗林 利帆 (1)
小柳 怜生 (1)
高岡 風我 (0)
橘 心優 (1)
山崎 伶乃亜 (1)
和田 久朋那 (1)

高池保育所

4月7日に高池保育所、4月9日には三尾川へき地保育所の入園式が行われました。
今年度の新入園児は以下のとおりです。

高池保育所・三尾川へき地保育所の入園式

青組 中村 智紀 (5)

三尾川へき地保育所

赤組 上地 友樹 (1)
大岡 和樹 (2)
中田 蓮乃 (2)
渡辺 郁花 (1)

携帯電話
小川椎平基地局、松根基地局
サービス開始

平成21年度携帯電話等エリア整備事業により、町が設置をすすめてまいりました小川椎平基地局及び松根基地局の2箇所につきまして、平成22年3月に完成いたしました。

2箇所ともNTTドコモの携帯電話基地局で、小川椎平基地局は平成22年4月1日、松根基地局は平成22年4月13日からサービスが開始されました。

【総務課】

安心して暮らせる

町づくりを目指して

古座川町議会3月定例会町長施政方針(要旨)

■行財政運営

町税は、平成19年度の税源移譲に伴う税制改革にもかかわらず平成20年度の決算においては、ピーク時である平成9年度に比べ3千831万6千円の減、率にして14%の減となつています。平成22年度予算においても給与所得などの減により更なる減収を予想しています。又、歳入の半分以上を占める普通交付税については、自主財源が少なく財政力が弱い当町では、平年においても他団体に比べ交付率が大きいため、更なる増額は見込めないと考えています。逆に、普通交付税の代替措置とも言われる臨時財政対策債の発行可能額は50.8%の大幅な増とされています。

歳出では、町民の期待に応えるため、普通建設事業で対前年度比3千25万7千円の増、率にして8%の増(町単独事業では、5千134万4千円の増)の積極的な予算計上とされています。

■庁舎改修

県道拡幅工事のため、庁舎別館の解体が必要となります。このため道路拡幅後の跡地に庁舎別館を新築します。

これに合わせて本庁舎の長寿命化や住民の皆様が利用しやすい課室等の機能的な配置とするための改修工事を行います。

■住宅建設

住宅数が不足し、町営住宅の老朽化が進むなかで、特色ある町づくりを推進するため、地域内外の住宅需

要に対応した新しい居住環境の整備にむけ、住宅用地を購入します。

■高池保育所の芝生化

昨年度、明神小学校の運動場を芝生化しましたところ、大変好評を得ました。

今年度は、高池保育所の運動場の芝生化を行い子供達の怪我の防止や体力の向上を図ります。

■子ども手当支給事業

平成22年度から従来の児童手当に代わり次世代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを社会全体で応援する観点から、中学校修了までの児童を対象に一人につき月額13,000円の子ども手当を支給します。

■高齢者対策

高齢者対策については、昨年度に引き続き65歳以上の方々に配食サービスを実施し、食生活の充実を図ります。また、所得税非課税世帯を対象に高齢者や身体障害者の居宅周辺の通路整備や居宅内の転倒防止のための手すりの取り付けや段差解消の事業に補助し、利便性の向上と安全な住まいの確保に引き続き努めていきます。

今年度からの新規事業として、肺炎球菌ワクチンの接種に助成します。

肺炎の予防は、特に高齢者にとつては死亡率を低下させるだけでなく、耐性菌対策としても非常に大切なものです。

肺炎球菌ワクチンが、この予防に貢献することが証明されており、近年わが国においても接種者が急速に増えてきています。

昨年開催しました地区懇談会のなかでも肺炎球菌ワクチンの助成について要望がありましたので、平成22年度から町内の75歳以上の



転倒防止のための手すり

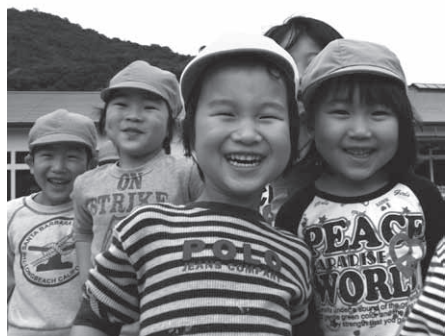
住民の方を対象に1,000円の自己負担で肺炎球菌ワクチンを接種して頂けるよう新たな制度を設けました。

また、今年度、新たに地域福祉支援システム導入事業を実施します。

これは、今まで手作業で行っていた要援護者台帳をデータ管理するもので、各種帳票の作成が効率的に行える他、災害時における安否確認作業や平常時の見守り活動等地域活動を支援するシステムとして導入します。

■診療所

診療所については、明神診療所、七川診療所と各へ



元気いっぱいの園児たち

き地診療所を地域医療の拠点施設として、2名の医師が診療を行います。

■産業振興施策

農業については、ゆず・しきみ・千両を推奨三品目として、引き続き生産の奨励に努めていきます。

また、新規推奨作物研究開発として、昨年度から大阪周辺の市場調査を行っており、平成22年度も引き続き調査研究を進め、推奨三品目と組み合わせた栽培方法や市場動向を見ながら、今後の取り組みを検討していきます。

平成20年度から、取り組んでいますキイジヨウロウホトトギスや日本ミツバチ



推奨三品目のひとつ千両

の特産品化についても、栽培研修会の開催や愛好会の組織化を図っており、産業として育成できないか引き続き検討を行っていきます。



西川のスイレン

遊休農地については、各地域で遊休農地を利用してスイレン・レンゲ・菜の花などの景観作物が植えられ、最盛期には賑わいをみせており、今後も各団体や県と連携し、遊休農地の活用を核とした「交流型農業」を推進していきます。

■鳥獣害対策

農家や地域の皆さんから最も要望の多い、鳥獣害対策について、これまで古座川町鳥獣害防止対策協議会

などと協議を重ねてまいりました結果、昨年度までサル捕獲にのみ1頭15,000円の報償を出しておりましたが、平成22年度からは新たにシカ対策の拡充に努め、シカ1頭10,000円の報償を出し被害防止対策に努めていきます。また、アライグマの捕獲用檻10基、イノシシの捕獲用檻5基を新たに購入し、鳥獣害対策に取り組んでいきます。



アライグマの被害にあったスイカ

農業関連施策として、鶴川農業用水路の整備や、西川船原池補強補修事業に取り組んでいきます。

■農業関連施策

川船原池補強補修事業に取り組んでいきます。

■定住関係

県ふるさと定住センター

を核とした交流活動や定住促進のPR事業が定着化しており、今後も引き続き地域との連携を深めながら、移住交流推進事業に努めていきます。

■林業施策

林業施策として、林業の低コスト化をめざし、これまで高性能林業機械の導入による効率的な間伐作業システムの整備などに取り組んできましたが、今後も引き続き間伐材の活用など林業生産活動の改善と木材利用促進に積極的に取り組んでいきます。

平成23年度に、第62回全国植樹祭が和歌山県を会場として、開催される予定で

古座川町では、佐田おおじやの森を植樹祭会場予定地と考えており、林内の整備や駐車場内に公衆トイレの新設などを進めていきます。

また、森林や里山の環境保全に努めるため、鶴川地区の残土処理施設跡地に広葉樹等を植林する森林公園整備事業を実施するとともに

に、緊急雇用対策による里山環境保全整備事業を導入し、町内の林道周辺の草刈りなど環境整備に努めていきます。

■観光振興

次に、観光振興としてふるさと雇用を活用し、ぼたん荘を核とした体験型観光の推進に取り組んでいきます。

また、県や観光関係団体と連携しながら、古座川の豊かな水資源や自然景観、生活文化などこれまで受け継がれてきた観光素材に磨きをかけ、古座川のブランドを売り出す、新たな観光施策の取り組みについて検討を進めていきます。

■建設・水道

昨年度地区懇談会で要望等のあった事項で、実施可能な事業の他、橋梁の長寿命化といった橋梁補強工事を新たに行っていきます。

また、一級町道「下露小川線」と「下露小川一号线」の道路改良は仮称小川総合センターの建設を含め将来に展望の持てる古座川町の新たな観光の拠点づくりと

して進めていかなければならないと考えています。

また、新規事業として地籍調査事業を実施し、その成果を国道、県道の改良計画等に活用していきたいと考えています。

国道、県道、河川等、県に整備をお願いしなければならぬ箇所は多くあり、難問山積であります。議員の皆様のお力添え、地域の皆さんのご協力を得ながら

一歩一歩確実に整備を進めていきたいと考えています。なお、古座川町では、工事を一人の為に役立つコンクリート」と位置づけ、立ち遅れている道路改良等生活環境の整備を計画的に推進していきます。

簡易水道関係は引き続き漏水箇所調査を行い、安全、安心の給水に努めてまいります。

■消防防災

消防関係については、区民の隣保協同の精神に基づく自主的な防災活動を行うことにより、地震、水害、その他の災害による被害の防止と軽減を図る目的で自

主防災組織の結成を促すとともに、防災用資機材購入補助を行います。

■学校教育施設

平成21年度に、高池小学校及び古座中学校の校舎改修工事が完了しました。引き続き平成22年度は、明神小学校、三尾川小学校の校舎改修工事を実施いたします。

また、老朽化した古座中学校テニス部室の修繕、アトピー性皮膚炎の児童への対応の為、三尾川小学校に温水シャワールの設置、学習効率を高める為に高池小学校の教室改修工事等、各学校の児童生徒の安全・安心の為の学習環境の整備、充実につとめていきます。

■特別支援教育支援員

学習や生活面で特別な支援を必要とする児童生徒に対し、特別支援教育支援員を3名配置し、特別支援教育の充実を図ってきており、多大な成果をあげています。平成22年度も引き続き3名の支援員を配置します。

■小学校における

外国語活動

明神小学校における「文部科学省指定外国語活動研究事業」は、国の事業仕分けにより、研究費用が打ち切りとなりました。平成23年度より外国語活動の授業が本格実施となりますが、児童がスムーズに教科学習に対応できるよう、22年度も明神小学校を核として町内3小学校の授業研究に町独自で財政的な援助をおこなっていきます。



小学校での英語の授業

■川崎市児童との

交流事業

川崎市生涯学習事業財団の申し入れにより、平成16



ふれあいサマーキャンプ

年度から川崎市児童と町内児童による「ふれあいサマーキャンプ」を実施して

いますが、平成22年度は、新たに町内児童も川崎市を訪問し、交流や研修を行ないます。訪問事業、受け入れ事業を通して、児童のコミュニケーション能力・協調性・自主性を育み、郷土を愛し守り育てる意欲や態度の育成を図る事を目的として実施します。

■町史編纂事業

「近世史料編」「近現代史料編」「民俗編」に続き、平成23年度末の刊行を目指し、「通史編」の執筆及び資料収集を行なっていきま

す。

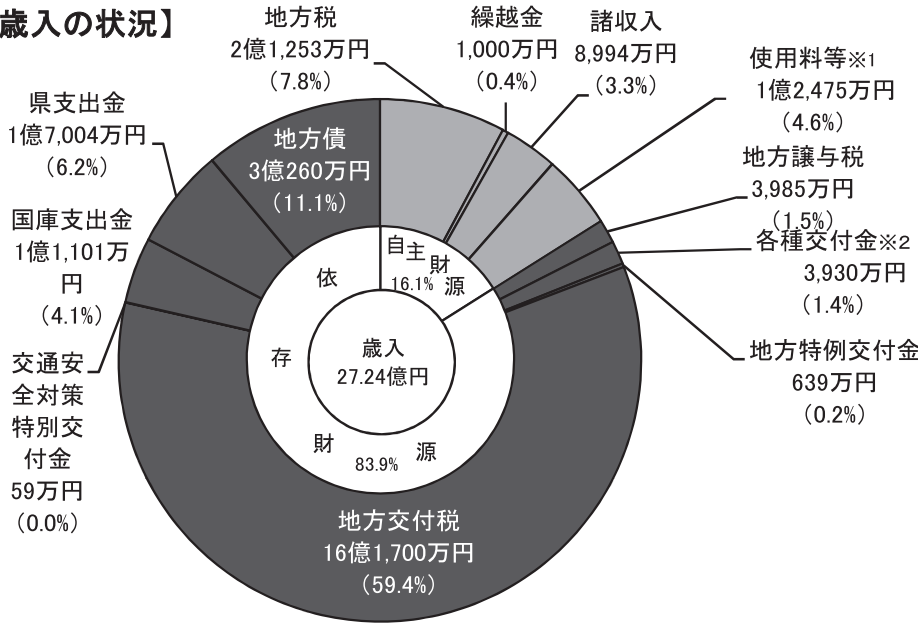
以上、これら施策を実施する予算としまして、一般会計の歳入歳出の予算総額は、それぞれ27億2千400万円とし、対前年度比1億3千900万円、5.4%の増とし、国民健康保険特別会計を始めとする、8つの特別会計予算総額は、13億2千45万7千円としました。

特別会計を含む総予算は、40億2千645万7千円とし、対前年度比1億6千706万6千円、率では4.3%の増としました。引き続き厳しい財政状況が続きますが、健全財政を堅持しつつ積極的に行財政改革を推進し、多様化する行政に対する町民の要望に応えていきたいと考えていますので、皆様方のご協力を切にお願い申し上げます。

平成22年度予算

一般会計予算は、27億2400万円。※前年度比5.4%の増となっています。(平成21年度一般会計当初予算との比較)

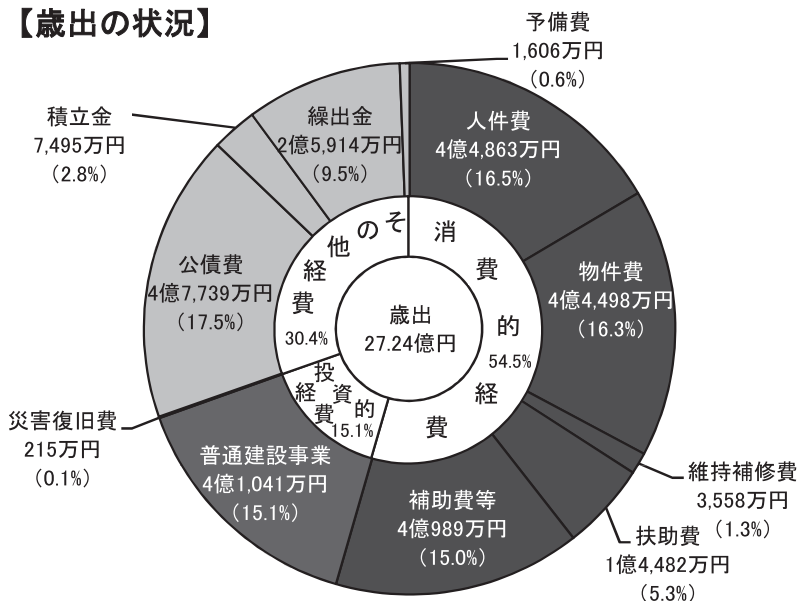
【歳入の状況】



※1 使用料、手数料、分担金、負担金、財産収入、寄付金、繰入金

※2 利子割交付金、配当割交付金、株式譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金

【歳出の状況】



会計名	予算額
国民健康保険特別会計	5億56万円
七川診療所特別会計	1億421万円
明神診療所特別会計	6,375万円
へき地診療所特別会計	2,234万円
老人保健特別会計	24万円
簡易水道施設特別会計	3,031万円
介護保険特別会計	4億7,167万円
後期高齢者医療特別会計	1億935万円

子ども手当制度開始

平成22年4月1日より、子ども手当制度が始まりました。従来の児童手当に代わり、出生から15歳に達する日以後の最初の3月31日まで(中学校卒業後すぐの3月31日まで)の期間、一人につき月額13,000円が支給されます。支払期は児童手当と変更ありません。

現在児童手当を受給されている、または平成22年3月末まで受給されていた方は新たな申請の必要はありませんが、新規に対象になる方には3月末〜4月初旬頃に申請書をお送りさせていただきます。対象にいただいています。対象に届かない方や、申請書が失くした方は役場住民福祉課までお問い合わせ下さい。

【住民福祉課】

町長【参議院の調査会】で意見を述べる

2月17日に参議院議事堂分館において、参議院の「少子高齢化・共生社会に関する調査会」に参考人として武田町長が出席しました。

武田町長の他に関西学院大学人間福祉学部の牧里教授、島根県海士町長及び東京都三鷹市長が参考人として出席しました。

当日のテーマは「少子高齢化とコミュニティの役割」であり、各参考人が15分程度意見を述べました。

意見陳述において、過疎高齢化に直面する古座川町における課題、まちづくりや地域を元気にする産業づくりの担い手確保のため、

古座川町が推進している「交流」を基軸とする取組等について報告しました。

その後、調査会委員から質疑があり、それに対して、古座川町における地場産業の振興、ふるさと産品の販路拡大とIターン・Uターン者等の受入態勢の整備状況等、少子高齢化が進む古座川町における共生社会についての意見を述べました。

【総務課】



意見を述べる町長

障害福祉サービス及び補装具の利用者負担が軽減

現在、障害者福祉制度は障害者自立支援法を廃止し、新たな総合的な制度の創設が検討されています。

平成22年4月から新たな制度ができるまでの間、町民税非課税世帯の障害者ま

たは障害児の保護者の、障害福祉サービス及び、補装具に係る利用者負担が無料になりました。

【住民福祉課】



七川診療所に坂東医師が着任

4月1日から七川診療所に坂東医師が着任し、新体制での診療が始まりました。

診察日は、月曜日・火曜日・木曜日・金曜日で受付時間、診察時間、福祉号の運行については従来どおりです。



【坂東憲生医師】

このたび赴任いたしました、坂東です。約6年前にこの地域の医療にお役に立ちたいと古座川病院に参りました。内科医ですが、糖尿病や腎臓病、高血圧など生活習慣に強く関連した病気に取り組んできました。

この地域では高齢化が進んでいると聞いております。単にお薬で病気を治すのではな

く、介護や保健・福祉とも連携し、安心していきっていくような地域作りに参加させて頂きたいと考えています。私の年齢も高くお役に立てるかわかりませんが、地域の皆様のご希望やご意見をよくお聞きして出来ることをさせていただきます。

【総務課】



診察する坂東医師

ハナアミワークショップでにぎわいました

3月13日、潤野地区河川敷を会場に、花飾りづくりのハナアミワークショップが開催されました。主催は古座川花の里連絡協議会で、昨年より講師として招へいしてきたフラワーアーティストの大谷幸生氏も参加しました。



熱心に花飾りをつくる参加者

当日は、東京や大阪等からのツアー客約20名を含め、一般参加者約100名、地元や役員関係者30名程度が集まり、早春の河川敷は大いににぎわいました。



上手に編めたよ

ハナアミは、お寿司などに使うバランの葉っぱで花を三つ編みに編み込んでつくります。この日のバランは、協議会の呼びかけに賛同いただいた町内各所から買い取ったものを使用しました。花材には、野の花や協議会で昨年に種まきをした花畑の花などをその場で摘んで利用しました。

参加者からは「青空の心が洗われた」という感想もいただきました。協議会では、町内のバランを活用し、町全体で取り組んでいけるハナアミの新展開を模索中です。活動にご協力いただける方がありましたらぜひ役員産業振興課までお問い合わせください。

【産業振興課】

春の全国交通安全運動実施

4月6日、高池河内橋付近において、春の交通安全運動として、街頭啓発活動が行われました。

啓発活動には、串本警察署員、交通指導員、交通安全母の会会員ら関係者約20人が参加。ドライバー一人ひとりに啓発物を手渡し、安全運転を心掛けるよう呼びかけました。

【総務課】



街頭で安全運転を呼び掛け

佐田の桜まつり 盛況のうちに終了

4月4日、七川ダム湖畔において、毎年恒例の桜まつりが開催されました。

今年桜の開花が例年より早く、まつりの1週間前にすでに満開の状態でしたが、その後寒い日が続く、当日はときおり舞う花びらの中での風情ある1日となりました。

来場者数は約1,500人で、町観光協会が主催するスタンプウォークやもちほりなどの催しに多数の参加がありました。緑茶とゆ

ずのお菓子のサービスも大変好評で、なかには購入先を尋ねて買い求める方もいらつしやいました。

【産業振興課】



大盛況だった「もちほり」

納期限のお知らせ

平成22年度

●介護保険料(第1期)

納期限は4月30日です。

- 固定資産税(第1期)
- 軽自動車税(第1期)
- 介護保険料(第2期)

納期限は5月31日です。

- 町県民税(第1期)
- 介護保険料(第3期)

納期限は6月30日です。

※納期限を過ぎると、督促手数料や延滞金が加算される場合があります。
※納付書等を紛失された場合や、口座振替を始めたい場合はお申し出ください。

職員紹介

平成22年1月から古座川町役場にて勤務しています、住民福祉課の宮本旭です。

国民年金に関する業務や、窓口にて住民票や印鑑証明、戸籍の受付・発行を担当しています。

直接町民の皆様と顔

を合わせる機会の多い仕事ですので、ご迷惑にならないよう、一生懸命仕事を覚えていきたいと思えます。

何年も和歌山を離れていましたので、早く顔や名前を覚えていただけるよう頑張りたいと思えますのでよろしくお願い致します。



みやもと あきら
【宮本 旭】

平成22年4月から総務課にて勤務しています、塚憂妃です。

総務課では主に給与の担当をしています。

本宮町出身で古座川町について知らないことが多々ありますがこれから役場の仕事を通じてたくさん古座川町

の素晴らしさを体感していきたいと思っています。

新卒で至らないところばかりではありますが、一日でも早く町民の方々の暮らしに役立てる仕事ができるよう精一杯努めていきたいと思えますのでよろしく願います。



つか ゆうか
【塚 憂妃】

平成22年4月より住民福祉課にて勤務しています、西唯花です。

住民福祉課では、主に窓口での戸籍や住民票、印鑑証明等の証明書の発行などの業務を担当しております。

新人で業務については分からないことだらけですが、豊かな自然

に囲まれた美しい古座川町で働けることをとても嬉しく思っています。

町民の方々ともお会いする機会が多いので、一日でも早く住民の皆さんのお役にたてるように努力していきたいと思っています。

よろしくお願いいたします。



にし ゆいか
【西 唯花】

平成22年4月1日付けで職員の人事異動がありました。

(新) (旧)

参事兼総務課長事務取扱	財政課長	前田 範明
財政課長	住民福祉課長補佐	塩崎 貴之
産業振興課長兼検査員	建設課主幹兼検査員兼課長補佐事務取扱	岡田 成隆
参事兼教育次長	参事兼総務課長事務取扱	坂本 宗久
総務課長補佐	総務課専門員	巽 俊彦
住民福祉課長補佐	総務課長補佐	尾崎 昇
住民福祉課長補佐	産業振興課長補佐	仲本 耕士
産業振興課長補佐	産業振興課専門員	河口 洋
建設課長補佐兼検査員	産業振興課長補佐	大屋 敏治
出納室長補佐	出納室専門員	森 秀夫
議会事務局長補佐	住民福祉課専門員	大江 順彦
財政課専門員	財政課主任	西 武彦
産業振興課専門員	住民福祉課専門員	大倉 一浩
財政課係長	議会事務局係長	巽 寿久
住民福祉課係長	住民福祉課主事	畑下 久美子
住民福祉課係長	七川診療所係長	岡田 美峰
建設課係長	建設課主事	吉崎 和広
教育委員会係長	出納室係長	倉矢 優子
総務課主事	住民福祉課主事	西畑 真大
住民福祉課主事	財政課主事	坂地 弘光
産業振興課主事	明神診療所主事	細井 孝哲
出納室主事	総務課主事	岡本 圭司
明神診療所主事	教育委員会主事	畑下 大輔
【新規採用者】		
総務課主事補		塚 憂妃
住民福祉課主事補		西 唯花
七川診療所長(医師)		坂東 憲生
【3月31日付退職】		
		猪谷 清
		船口 幸徳
		平松 義文